

# Inspiration Camp in AOMORI 2017

## 第5回 未来ひらめき 創造塾

【2017実施レポート】

青森県企画政策部地域活力振興課

# 開催概要

## (1) 目的

青森県内及び周辺地域の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

## (2) 参加者

青森県内及び周辺地域の中学生 28名（男子12名、女子16名）

## (3) 開催日時

平成29年8月16日（水）～19日（土）

## (4) 会場

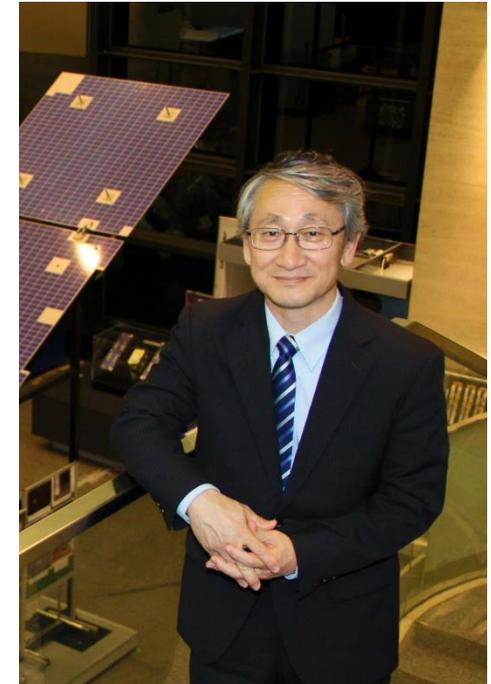
新青森県総合運動公園マエダアリーナ（青森市大字宮田字高瀬22-2）  
青森県総合学校教育センター（青森市大字大矢沢字野田80-2）  
西の広場（ねぶたの家フ・ラッセ横）  
青函連絡船メモリアルシップ・八甲田丸

## (5) 参加費

13,000円（宿泊費、食費、傷害保険、材料費等）

## (6) 塾長

宇宙航空研究開発機構（JAXA）教授 川口 淳一郎 氏



### <プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。

1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループ・プログラムディレクター（JSPEC/JAXA）、1996年から2011年9月まで「はやぶさ」プロジェクトマネージャーを務める。現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月よりシニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャーを務めた。

# 第5回 全体カリキュラム

## 第5回 インスピレーション・キャンプ IN AOMORI (未来ひらめき創造塾) カリキュラム

		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
1	8/16 (水)	移動バス						受付	開塾式 《SVG》	◎交流企画 ウォーミングアップ 14:00~15:30 研修室	■チャレンジプロジェクト ＜新しいスポーツの創造＞ 15:30~18:00 サブアリーナ	夕食		■川口塾長講話 ■塾長との交流 18:40~20:40 研修室	入浴 自由時間		消灯・ 就寝
		マエダアリーナ															
2	8/17 (木)	起床	朝食・掃除 ＜A＞	移動バス	■塾生と教師のひらめき創造教室＜理科編＞ 8:30~13:00 技術研修室 協力者: 工藤貴正様 (Mr. マサック)				昼食	■MESHワークショップ ～アイデアをしくみにする～ 13:45~17:45 4H 体育館 協力者: はこだてみらい館		移動バス	夕食	◎交流企画 星空と人 (星空観望+講演) 19:00~21:00 研修室+アリーナ駐車場 協力者: 国立天文台 小野様		入浴 自由時間	消灯・ 就寝
		マエダアリーナ		青森県総合学校教育センター						マエダアリーナ							
3	8/18 (金)	起床	朝食・掃除 ＜A＞	移動バス	■塾生と教師のひらめき創造教室 ＜国際コミュニケーション編＞ 9:00~13:00 体育館 協力者: AICO菊池さん、斎藤さん、ACGU金川さん 県内大学の留学生				昼食	■チャレンジプロジェクト ＜地元企業の課題解決プロジェクト＞ 13:40~18:00 体育館・食品研修室 1.5H 3H 協力者: ヤマモト食品(株)様 グループプランの作成 マーケティング・ツール等の製作		移動バス	夕食	◎交流企画 チーム対抗ゲーム大会 19:00~20:45 研修室		入浴 自由時間	消灯・ 就寝
		マエダアリーナ		青森県総合学校教育センター						マエダアリーナ							
4	8/19 (土)	起床	朝食・掃除 ＜A＞	移動バス	■チャレンジプロジェクト 地元企業の課題解決プロジェクト③ 街中マーケティング 8:30~11:00 提案内容まとめ 11:00~12:00 企業への提案等 12:00~13:20				閉塾式 《G》								
		マエダアリーナ		ワ・ラッセ前西の広場、八甲田丸						八甲田丸							

## 協力者・スタッフ

## 【運営】

役 割 等	氏 名	所 属 等
塾長	川口 淳一郎	宇宙航空研究開発機構 教授
事務局	松岡 浩美	青森県 地域活力振興課 人づくりGM
事務局	奈良 尚之	青森県 地域活力振興課
事務局	沼澤 豊起	青森県 地域活力振興課
事務局	舘山 朋枝	青森県 地域活力振興課
事務局	島田 章史	青森県 地域活力振興課

## 【協力者】

役 割 等	氏 名	所 属 等
講師<星空観測>	小野 智子	国立天文台天文情報センター
講師<MESHワークショップ>	上月 貴博	はこだてみらい館 (ソニーPCL(株))
講師<地元企業の課題解決PJ>	山本 浩平	ヤマモト食品株式会社 代表取締役社長
講師<理科編>	工藤 貴正	Mr.マサック
講師<国際コミュニケーション編>	菊池 昌子	市民による国際交流実行委員会
講師<国際コミュニケーション編>	斎藤 誠子	市民による国際協力実行委員会
講師<国際コミュニケーション編>	金川 利江子	青森中央学院大学 国際交流課
講師<国際コミュニケーション編>	留学生	青森中央学院大学

# 会場位置図



- 開塾式会場1** 新青森県総合運動公園マエダアリーナ  
(青森市大字宮田字高瀬22-2)
- 会場2** 青森県総合学校教育センター  
(青森市大字大矢沢字野田80-2)
- 会場3** 西の広場  
(ねぶたの家ワ・ラッセ横)
- 閉塾式** 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

## 開塾式

- 日時：1日目 8月16日（水）13:00～13:30
- 場所：マエダアリーナ 1F スポーツラウンジ

### 【出席者】

- ・ 塾生
- ・ 塾生の保護者
- ・ 川口塾長
- ・ 佐々木副知事

### 【進行次第】

- ・ 関係者入場
- ・ 開会
- ・ 佐々木知事あいさつ
- ・ 川口塾長あいさつ
- ・ 塾生自己紹介
- ・ 記念写真撮影



# 交流企画〈ウォーミングアップ〉

- 日時：1日目 8月16日（水）14:00～15:30
- 場所：マエダアリーナ 2F 研修室

出会う間もない塾生達がお互いを知るきっかけを作るため、様々な種類のアイスブレイクを実施して、アタマと体の緊張を解きほぐしました。

## ①鼻つまみ耳つまみゲーム

ペアをつかって、向かい合って座った状態でスタート。片方が、自分で右手で鼻、左手で右耳をつまむ。「せーの」の合図で左手で鼻、右手で左耳をつまむ。ペアのもう一人の人は、うまくできているかチェック。交代しながら、ふたりともうまく出来るようになるまでやってみる。



## ②誕生日並びゲーム

全員で輪になって並ぶ。この瞬間から発言禁止！周りの人の様子を見ながら、全員が誕生日順の並びになるように、立ち位置を修正します。



## ③ひらめきなぞかけ

〇〇とかけて△△と解きます。その心は？

各グループで考えて、一番良かったと思うものを発表します。

# チャレンジプロジェクト〈新しいスポーツの創造〉

## 【課題】

スポーツ用具と遊び道具を使った新しいスポーツをつくる。

## 【条件】

- 新たなスポーツを考えること。
- 1試合10分以内で終わること。
- 明らかに危険なプレー、用具を壊すプレーは除くこと。

## 【進め方】

- (1) 塾生 7人 × 4チーム (A~D) に分かれて、「今までにないスポーツ」を企画する。
- (2) 2チームでグループをつくり、サブアリーナの2面 (1/2面ずつ使用) に分かれて企画を検討、プレゼンテーションを実施する。
- (3) それぞれのチームが考えたスポーツをお互いにプレーし、以下の評価基準に基づき互いに評価し合う。

## 【評価基準】

- ① 楽しさ
- ② ルールのわかりやすさ
- ③ 独創性 (新しさ)

- 日時：1日目 8月16日 (水) 15:30~18:00
- 場所：サブアリーナ



## 川口塾長講話・川口塾長との交流

- 日時：1日目 8月16日（水）18:40～20:40
- 場所：マエダアリーナ 研修室

## 【テーマ】

若い方へこそ伝えたい 宇宙大航海への心

## 【川口塾長からのメッセージ】

- ・普通の人不可能だと思うことにこそ、果敢に挑戦することが大事。その先にこそ大発見や大成功がある。
- ・日本人は過度にルールにしばられがち。ルールが作られるのを待つだけではなく、ルールがない世界でどのように行動するかが重要。



## 塾生と教師のひらめき創造教室 &lt;理科編&gt;

- 日時：2日目 8月17日（木）8:30～13:00
- 場所：青森県総合学校教育センター 研修室

## 【課題】

与えられたミッションに対して、限られた材料と無限の発想力をフル活用して、ミッションクリアを目指す。

シンプルだけど奥が深いミッションに挑戦し、試行錯誤しながらベストスコアを目指す。

## 【運営】

ディレクション 工藤貴正氏（Mr. マサック）

## 【内容】

## ◆イントロダクション

発想カウオーミングアップ

（Mr.マサックの「ひらめき力」講座）

## ◆チャレンジ1

板のせり出しチャレンジ（グループチャレンジ）

3.5\*20cmのスチロール板36枚を重ねて、机の端から最も遠くまでせり出すブリッジをつくる。トライアルタイムの後、一斉にチャレンジし、時間内に製作する。せり出す距離の長さを競う。

## ◆チャレンジ2

くるっと着地チャレンジ（個人チャレンジ）

PPC用紙、はさみ、セロテープを用いて、猫のように空中で反転して着地するものを作る。トーナメント対戦で勝敗を競う。



# MESHワークショップ ～アイデアをしくみにする～

■日時：2日目 8月17日（木）13:45～17:45  
 ■場所：青森県総合学校教育センター 体育館

## 【内容】

さまざまな機能を持ったブロック形状の無線でつながる電子タグ「MESH」をアプリでつなげて、「あったらいいな」という「アイデア」を実際の「しくみ」や「かたち」にするワークショップ

## 【運営協力】

はこだてみらい館（ソニーPCL(株)）  
 クリエイティブ・ディレクター 上月貴博様 他スタッフ4名

## 【内容】

①MESHタグを使って、自分たちの暮らしをもっと便利にするためのアイデアを考える。（グループワーク）

MESHタグやタブレット、多彩な100均グッズなどを使って、暮らしに役立つ便利なものを「創る」

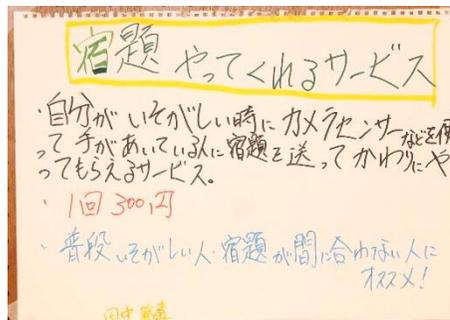
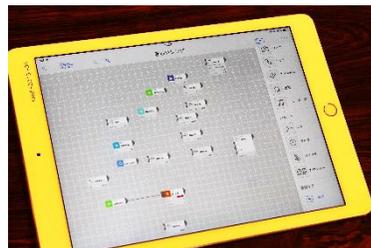
どんな風に自分たちの生活が便利になるのかグループ発表する。

②MESHタグのアイデアを拡張して、新しいサービス（コト）のアイデアを考える。（各個人）

MESHのアイデアを自分なりに拡張して、今は存在しないけどあったら便利な「コト」（=サービス）を発明し、企画書ポスターを作成する。）

③他の人の気に入ったアイデアに「投票」する

④最も得票の多かった人を表彰



# 塾生と教師のひらめき創造教室 <国際コミュニケーション編>

- 日時：3日目 8月18日（金）9:00～13:00
- 場所：青森県総合学校教育センター 体育館

## 【内容】

ミ二国際会議への参加を通じて、世界を知り、日本・青森、自分を知る。  
外国語能力だけではない、世界と渡り合えるコミュニケーション能力とは何かを体験する。

## 【企画運営】

市民による国際交流実行委員会 菊池様、斎藤様  
青森中央学院大学 金川様  
青森県に留学中の留学生のみなさん

## 【内容】

- 「ひらめきサミット2017 in AOMORI」  
世界共通の新たな「祝日」の制定

塾生は、9グループに分かれて、それぞれ9カ国の代表として国際会議に参加しました。会議では、世界共通で新設する祝日について議論しました。

それぞれのグループには各国出身の留学生がアドバイザーとして入り、その国の事情などを踏まえながら、どのような祝日を提案するのが良いか、グループ内で検討しました。全体会議で各国から提案した後、どの祝日を採用するか、各国代表により活発な議論が行われました。

最終的に、一つの祝日を共通で採用することとして、全体会議で採決されました。



# チャレンジプロジェクト<地元企業の課題解決プロジェクト>

- 日時：3日目 8月18日（金）13:40～18:00
- 場所：青森県総合学校教育センター 体育館

## 【課題】

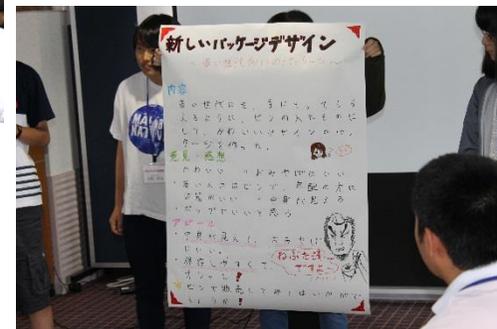
地元企業から、企業として直面している様々な課題（「若者世代への認知度向上・消費拡大」や「全く新しい加工品への展開」など）をプレゼンテーションしていただき、塾生が企業コンサルタントとなって解決策を考えます。

自分たちが考えた解決策について、街頭マーケットリサーチなどを実施してブラッシュアップし、最終案をヤマモト食品（株）様に提案しました。

## 【協力企業】

### ヤマモト食品株式会社（青森市）

青森の海の幸や山の幸をふんだんに使用した「ねぶた漬」「ダイヤ漬」など、本県の伝統的・象徴的な加工食品・お土産品を製造する食品加工会社（創業開始：昭和10年）



## 閉塾式

### 【出席者】

- ・ 塾生
- ・ 塾生の保護者
- ・ 川口塾長
- ・ 三村知事

### 【次第】

修了証交付

プレゼンター：川口塾長

MVP 記念品贈呈

プレゼンター：川口塾長

川口塾長あいさつ

三村知事あいさつ

記念写真撮影

■ 日時：4日目 8月19日（土）13:20～14:00

■ 場所：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸  
多目的スペース（大）



Inspiration

Camp

AOMORI 2017

【2017実施レポート】